

(4) 素数を求める

(a) 力まかせ法

素数の定義どおりに、その値より小さい値で割り切れないことを検査して、素数かどうかを判定する方法です。ブルータス法(Brutus Method)とも呼ばれます。

すなわち、2 よりも大きく着目する整数よりも小さい整数で除算を実行し、割り切れた整数があったら素数でないと判定し、次の整数値の判定に移ります。すべて割り切れなかったら素数とみなします。その過程を図 2-4 に示します。

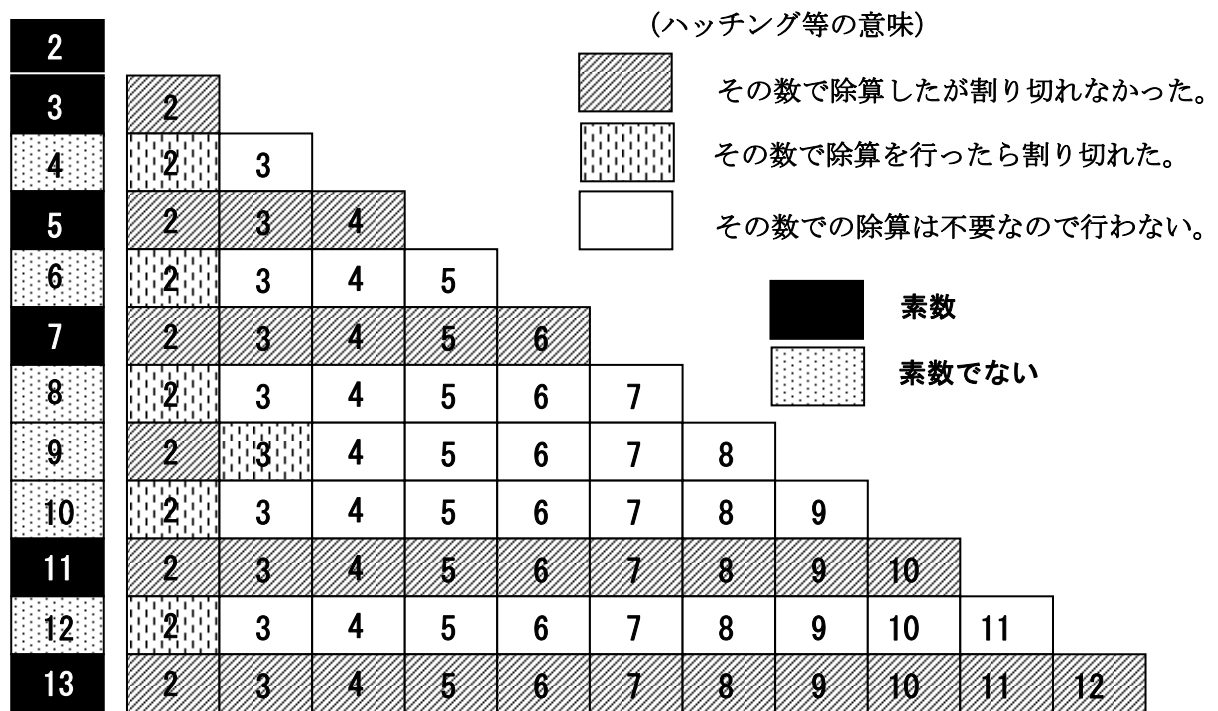


図 2-4 力まかせ法による素数の求め方